No. 275

大学別・難関大 ULTIMATE CHEAT SHEET

早稲田大学 理工3学部 英語攻略チートシート

基幹・創造・先進の共通問題。5年とも5題53問で内訳まで完全固定。名物の大問Ⅴ「数字変換」から解いて15問を先に確保する。

Web版はこちら

ここだけ3行

1 Ⅰ15・Ⅱ5・Ⅲ8・Ⅳ10・Ⅴ15問＝53問。5年間1問も動かない

2 大問Ⅴは多義語の問題。変換表 1=a-g 2=h-m 3=n-s 4=t-z

3 解く順はⅤ→Ⅱ→Ⅳ→Ⅰ→Ⅲ。理科の知識より学術英語の型

◆ 形式マップ（2022〜2026年度・設問数は5年同一）

90分・英数理各120点の360点満点（建築学科は空間表現40点を加え400点）。2/16に3学部同日のため併願不可。合格最低点は学系・学科ごと。

大問	設問	形式	固定された内訳
Ⅰ	15問	マルチテキスト読解	Text Ⅰ 9問／Ⅱ 3問／Ⅲ 3問（語数は年度で変動）
Ⅱ	5問	7語整序（マーク）	3番目と5番目の組をa〜dから
Ⅲ	8問	読解＋整序	Section A 6問／B 2問（段落＋文の二重整序）
Ⅳ	10問	読解	Section A 5問／B 5問
Ⅴ	15問	語彙（数字変換）	2つの定義に合う1語を数字にして選ぶ（2024〜26年度は全問。22・23年度は他形式も混在）

◆ 大問ごとの攻略法 5

☐ **1 Ⅰ：賛成か反対かを一言で**

3本は同じテーマで立場の違う論文が並ぶことが多い。読みながら「Text Ⅱ は Text Ⅰ に賛成か反対か」を決めておく。横断設問がそこを突く。Introduction などの論文の見出しが付く年もある。

☐ **2 Ⅱ：選択肢を先に見る**

a〜dの「3番目＋5番目」から候補語を絞る→空所の前後で文型→to＋原形・前置詞＋名詞・冠詞＋名詞のかたまり→指で数える。素材は数学・統計・分子生物学などの専門書。

☐ **3 Ⅲ Section B：形式の手がかりだけ**

段落の順序＋段落[A]内の文の順序という二重整序（2024・2026年度は5段落＋5文）。冠詞（a で導入→the で受ける）・指示語（this / such）・接続表現（However で始まる段落はふつう先頭に来ない）・定義の位置で絞る。53問中で最も重いので最後に。

☐ **4 Ⅳ：標準的な読解**

Section A・B とも a〜d の選択。図表やデータの説明文（統計の表示方法など）が入ることがある。1問約100秒。

☐ **5 Ⅴ：本質は多義語**

数字変換はマークで単語を答えさせる仕組みにすぎない。<u>2つの異なる定義に同時に当てはまる語</u>を知っているかが問われる。

◆ 大問Ⅴの解き方（例はオリジナル） 5

例：先頭が f、定義（ⅰ）「数字」（ⅱ）「重要人物」→ figure。i=2・g=1・u=4・r=3・e=1 で f21431。

① **選択肢の桁数を数える**
桁数＝文字数。単語を思いつく前に6文字か7文字かがわかる。

② **2つの定義の共通語を探す**
1つ目の定義だけで決めない。動詞と名詞、抽象と具体で意味が変わる語が答え。

③ **先頭文字＋文字数で候補を出す**
候補は限られる。2文字目だけ変換すれば、たいてい2択まで絞れる。

④ **思いつかなければ逆算**
各桁の数字から文字のグループを復元し、その並びで成り立つ語を考える。

⑤ **最後は必ず埋める**
4択なので空欄より期待値が高い。15問で20分、1問80秒。

◆ 変換表（問題に示されるが、覚えておくと速い）

数字	文字	覚え方
1	a b c d e f g	最初の7文字
2	h i j k l m	前半の残り6文字
3	n o p q r s	後半の最初の6文字
4	t u v w x y z	最後の7文字（1と4が7文字、2と3が6文字）

◆ 大問Ⅴで狙われやすい多義語のタイプ 14

記事が挙げたタイプと語。英英の定義で2つ以上の意味を言えるように。

語	意味①	意味②
☐ **address**	演説・住所	（問題に）取り組む
☐ **charge**	料金・責任	告発する・充電する
☐ **figure**	数字・図	人物／〜と考える
☐ **issue**	問題・争点	発行する・（号）
☐ **capital**	首都・資本	大文字の
☐ **current**	現在の	流れ・電流
☐ **volume**	量・音量	（本の）巻
☐ **matter**	物質・問題	重要である
☐ **sound**	音	健全な・妥当な
☐ **justify**	正当化する	（行為の）理由となる
☐ **account**	説明・口座	（for で）占める
☐ **observe**	観察する	（規則を）守る・述べる
☐ **yield**	生む・収穫	屈する・譲る
☐ **resolve**	解決する	決意する

◆ 学術英語の頻出フレーズ 7

出典は論文・専門書・百科事典。トピックを覚えるより先にこの型を反射で読めるように。

☐ **This study investigates 〜** ★★★ … 本研究は〜を調べる
論文の目的。Text Ⅰ の冒頭に多い

☐ **The results suggest that 〜** ★★★ … 結果は〜を示唆する
suggest は控えめ。prove に言い換えた選択肢は疑う

☐ **In contrast to earlier findings, 〜** ★★★ … 以前の知見とは対照的に
新しい主張の合図。Text どうしの対立にも

- ☐ **These findings are consistent with ～** ★★☆ … これらの知見は～と一致する
  賛成側の合図
- ☐ **One limitation of this approach is that ～** ★★☆ … この手法の限界の1つは～
  批判・留保の合図
- ☐ **The extent to which ～ remains unclear** ★★☆ … どの程度～かはまだわかっていない
  未解決。断定した選択肢は×
- ☐ **A key distinction can be drawn between A and B** ★★☆ … AとBの間には重要な区別がある
  定義・区別の段落。整序では先頭候補

出典とテーマの傾向

「理工学部だから理科の英語」ではない。誤謬(fallacy)、生存者バイアス、よい説明の条件、社会的ジレンマ、イノベーションのジレンマなど、**正しく考えるとはどういうことか**を扱う英文が繰り返し出る。出典は PLoS ONE などの論文、統計・解析学の教科書、スタンフォード哲学百科、一般向け学術書。2026年度は OpenStax や Wikipedia も使われ、同種の英文は無料で読める。

◆ 90分の時間配分

時間	大問	ポイント
0～20分	Ⅴ(15問)	頭が疲れる前に知識問題。飛ばした問題は最後に逆算
20～30分	Ⅱ(5問)	1問2分。選択肢から逆算
30～47分	Ⅳ(10問)	標準的な読解
47～75分	Ⅰ(15問)	3本の関係をつかみながら
75～85分	Ⅲ(8問)	A 6問を先に、Bの二重整序は残りで
85～90分	見直し	空欄ゼロ、マークずれ

◆ 2027年度に向けての注意(記事の予想) 5

- ☐ **1 予想:53問構成は不変**
  大問数・設問数・内訳まで5年完全一致のため、記事は「まず外れない」と予想。
- ☐ **2 予想:数字変換は継続**
  2024～2026年度は15問すべてが数字変換。ただし2022年度のようなイディオムの変換や、変換なしの空所補充が混ざる可能性は残る。
- ☐ **3 予想:二重整序も定番化**
  2024・2026年度で同じ設問文。冠詞・指示語・接続表現で解く練習を。
- ☐ **4 予想:思考法と方法論**
  因果と相関、再現性、実験計画、AIの偏りなど「科学を語る言語」のテーマ。300～800語の学術的英文を週4本。
- ☐ **5 要確認**
  学科ごとの科目構成・配点(建築学科の空間表現など)は**その年度の募集要項**で。難単語は『早稲田の過去問に出た英単語BEST100』で補う。

◆ 確認テスト

1 変換表で r は ＿＿ 。
a 3　b 2　c 4　d 1

2 先頭が s、定義「音」と「健全な・妥当な」。残り4文字を変換すると ＿＿ 。
a 3431　b 3341　c 3421　d 2431

3 The committee must ＿＿ the problem of rising costs.
a yield　b volume　c figure　d address

4 段落整序で、However で始まる段落はふつう ＿＿ に来ない。
a 先頭　b 最後　c 2番目　d 中間

5 The results ＿＿ that sleep affects memory, but more research is needed.
a deny　b suggest　c prove　d ignore

6 理工の大問Ⅱで答えるのは7語のうち ＿＿ の語の組。
a 1番目と7番目　b 4番目と6番目　c 3番目と5番目
d 2番目と4番目

◆ 解答

1 3 n～s が3
2 3431 sound:o3 u4 n3 d1
3 address address a problem＝問題に取り組む
4 先頭 接続表現は前の段落を必要とする
5 suggest more research is needed と合うのは控えめな suggest
6 3番目と5番目 5年とも同じ設問文

参考資料 原田英語｜早稲田大学理工3学部英語徹底研究 過去5年分析＆2027年度 超絶入試予想(5年とも53問・大問Ⅴ「数字変換」)／原田英語｜早稲田大学学部別英語入試難易度・形式マップ

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳(PDF印刷)・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート
(全439本・無料)